

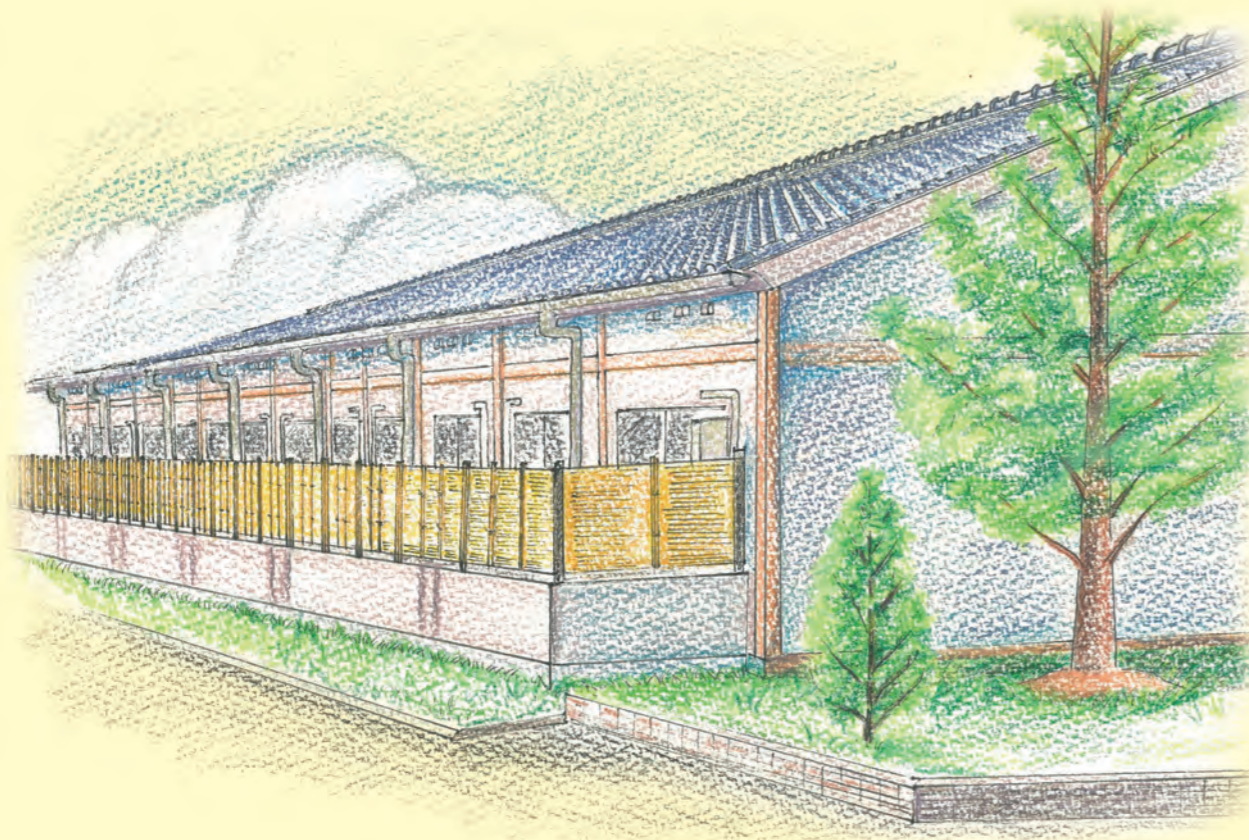
## ごあいさつ

「栄養を取る、尿を出すために管が体に入ったまま、家に連れて帰って大丈夫?」とよくご家族からこんなお話を聞きます。たとえ病院でどんなに技術的な指導を受けたとしても色々な不安があって当たり前なのです。

退院されご家庭に戻れば、定期的にお宅を訪問する在宅専門の医師や看護師が様々な不安や悩みが少しでも軽減できるようサポートします。完璧でなくても大丈夫! 病院とは違い、家庭では身の回りにあるものを利用して、家族が無理なく行える方法で医療的な手当てを行います。このパンフレットを通して〇〇さん流の手当てを一緒に考えていきましょう。



ものがたり診療所



この冊子は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成により、医療法人社団 ナラティブホームが作成しました。

# 家庭でおこなう 医療的な手当て



### 目次

膀胱留置カテーテルについて…………… P2・3

経管栄養について…………… P4・5

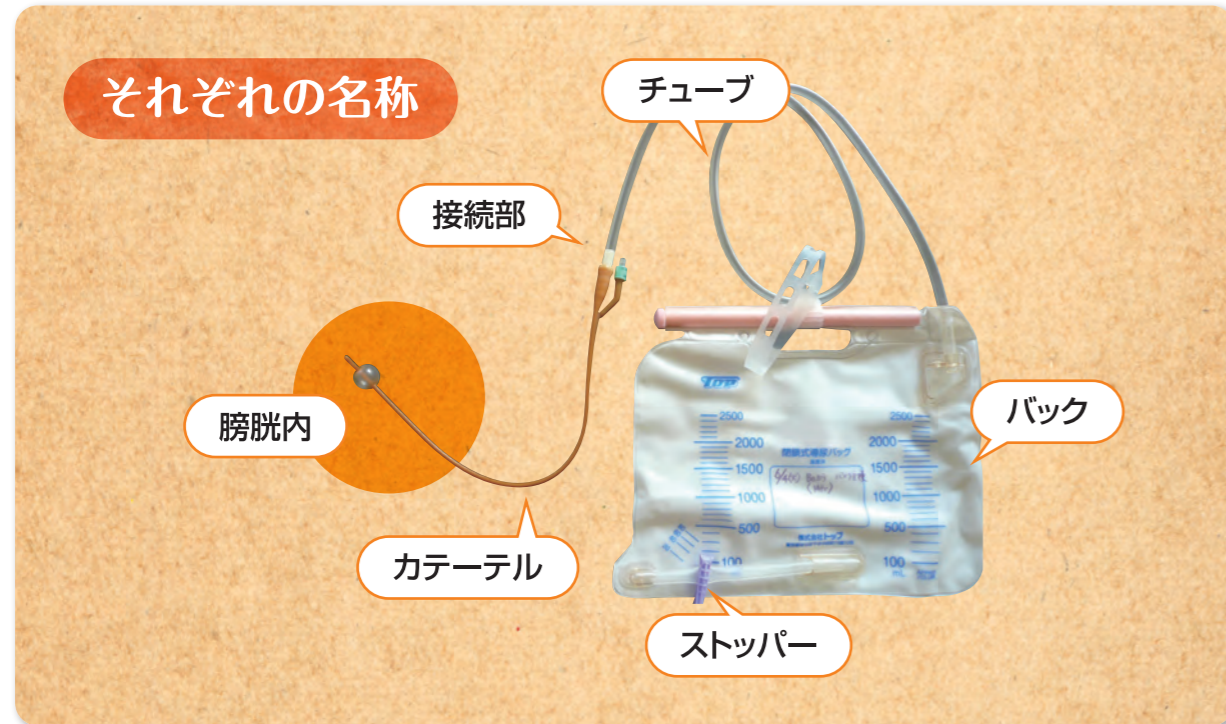
分泌物の吸引について…………… P6・7



# 膀胱留置カテーテルについて

## 1 膀胱留置カテーテルとは？

何らかの原因によって、自分で尿を出すことができない、または安静が必要な場合に、24時間膀胱内にずっと入れたままにして尿を出す管のことです。



## 2 ご家族にお願いしたいこと

### ●尿の観察

浮遊物(モロモロしたもの)やにごりがないか。(浮遊物やにごりが多いと管が詰まりやすくなりますので時々管をふって尿を流すようにして下さい。)

毎日決まった時間に1日量を測り、尿を捨てる。

### ●清潔の保持

陰部を洗浄し、清潔に保つ。(細菌が体の中に入るのを防ぐためです。)

### ●以下のような時は連絡して下さい。

カテーテルが抜ける、尿が出ない、腹痛、発熱、出血の際の連絡。

準備していただくもの

バケツ、S字フック、  
食器用洗剤の空容器(ふたに穴をあけたペットボトルでも可)

## 3 よくあるご相談

Q おむつの中に尿が漏れているのですが…。

A 少量の漏れが時々で、チューブやバックの中にしっかりと尿が流れ出ていれば大丈夫です。おむつ交換のたびに、多量に漏れるようであれば、カテーテルが詰まっている可能性があり交換が必要となりますのでご連絡ください。

Q バックの中に尿がたまっていないのですが…。

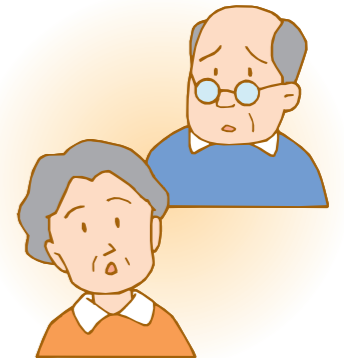
A カテーテルやチューブが途中で折れ曲がったりお尻や体の下になって圧迫されていないかを確認してください。それでも、尿が流れてこない、また下腹部の痛みや張り、発熱などの症状がありましたら、ご連絡ください。

Q 尿に血が混じっているのですが…。

A 半日程度様子を見て濃くなったり、発熱や痛みがある場合はご連絡ください。

Q 管が抜けてしまったのですが…。

A 訪問看護に連絡してください。新しいカテーテルを入れるために訪問します。



### ワンポイントアドバイス

尿の捨て方



ストッパーの  
かけ忘れに注意

バックの位置



落差が重要

手さげバックなどに袋・チューブをまとめて入れるとチューブが車輪にまき込まれません。



落差が重要



# 経管栄養について

## 1 経管栄養とは？

口から必要な栄養が取れなくなった場合の栄養補給の方法のひとつで、消化管に直接流動性の栄養物を送る方法です。

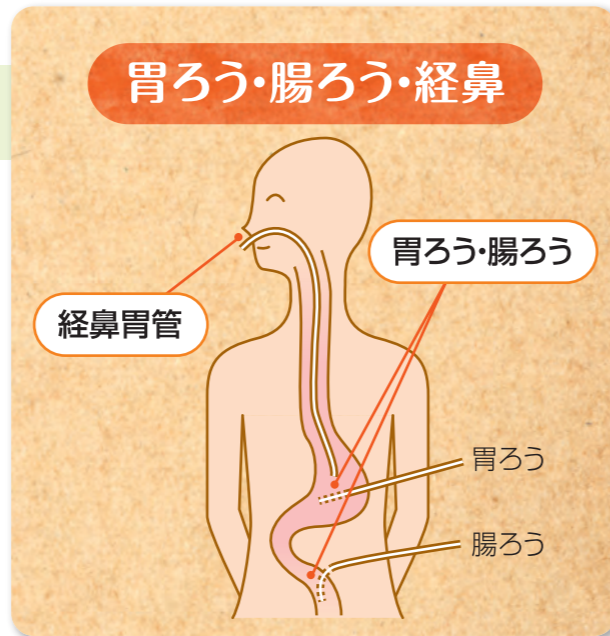
## 2 経管栄養の種類

### 1 胃ろう・腸ろう

内視鏡や手術によって胃や腸に栄養物を送るための孔(穴)を造設し、胃や腸に直接栄養剤を注入します。

### 2 経鼻胃管

チューブを鼻から胃の中まで通し、栄養剤を注入します。胃ろうや腸ろうのように手術は必要ありません。



## 3 ご家族にお願いしたいこと

### ●栄養剤の注入

注入方法はリーフレットを参照。  
注入する栄養剤、白湯などの量はかかりつけ医が指示を出します。

### ●連絡して欲しいとき

管が抜ける、詰まる、嘔吐した、腹痛、いつもと様子違う場合、連絡。

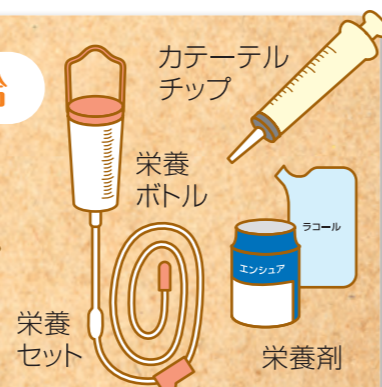


### 準備していただくもの

- 栄養ボトルをつりさげるスタンド (レンタルも可能)
- 酢水 (管の汚れ防止に有効です。) (500mlのペットボトルに水450ml+酢50mlを混ぜたもの)
- 聴診器 (経鼻栄養の場合)

### 診療所から支給

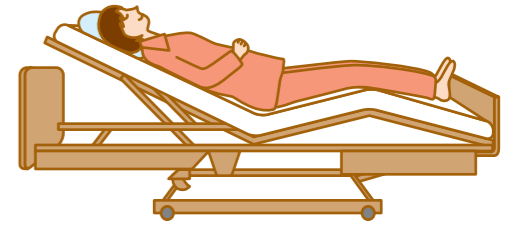
- 栄養ボトル
- 栄養セット
- カテーテルチップ
- 栄養剤



## 4 よくあるご相談

Q 栄養剤がチューブの中に入っていきません。

A 栄養チューブがどこかで折れ曲がっていないか、ねじれていないか、また薬や栄養剤が固まったものがチューブ内でつまっていないかを確認してみてください。



Q 栄養剤注入中に色が悪くなったり、吐き気・吐いてしまった場合どうしたらいいですか？

A ただちに栄養剤注入を中止して下さい。吐いたもので窒息しないよう体を横向きにし、様子を見て下さい。何度も吐く、いつもと様子が違う場合は速やかに、医師または看護師に連絡して下さい。

Q 胃ろうチューブや経鼻胃管チューブが抜けてしまった。

A 胃ろうチューブが抜けた状態でそのまま放置してしまうと、お腹に開いている穴が自然に閉じ、再びチューブを挿入できなくなる可能性があります。速やかに医師または看護師に連絡してください。経鼻胃管チューブが抜けても、胃ろうのように、穴が閉じることはありませんので、慌てなくても大丈夫です。

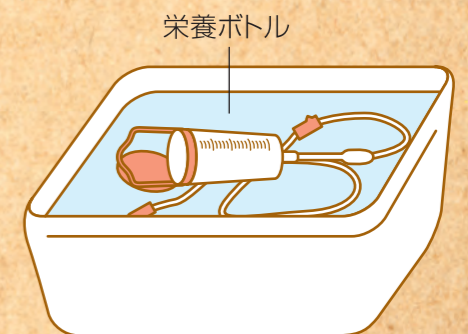


Q チューブの汚れが目立ってきたんですけど…。

A 漢方薬や下剤を使用しているとチューブに色がつくこともあります。胃ろう、経鼻チューブは訪問診療の際に汚れ具合をみて、定期的に交換します。ご家族のほうでも、汚れないよう毎回の栄養剤注入後は酢水の注入をお願いいたします。

### ワンポイントアドバイス

栄養ボトルは2週間に1度、キッチンハイターなどを入れた水に漬けておくと、きれいに長持ちします。栄養セットは月に2回新しいものと交換してください。





# 分泌物の吸引について

## 1 分泌物を吸引する必要性

痰は通常は咳によって吐き出されますが、病気や障害によって咳が十分にできず、痰を出せない場合に機械を使って痰を吸引します。痰がうまく出せないと、窒息や呼吸困難が起こったり、肺炎などの原因になります。

## 2 分泌物の吸引方法

### 口からの吸引

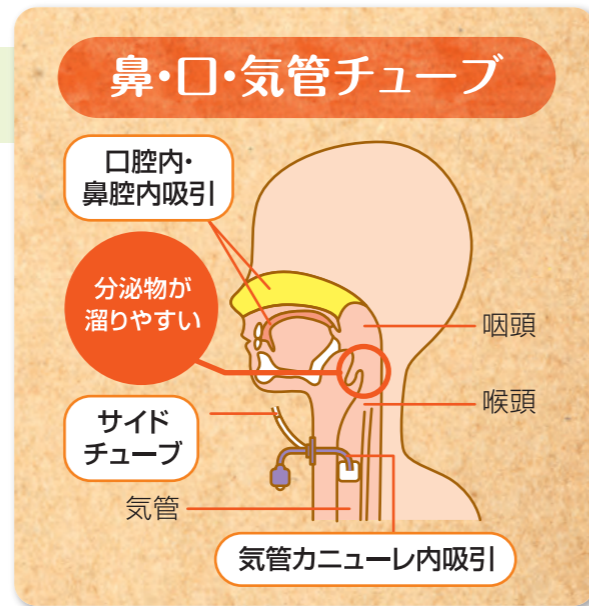
口に中に溜まった分泌物を吸引します。

### 鼻からの吸引

鼻からチューブを入れのどの奥の方の分泌物を吸引します。

### 気管チューブからの吸引

気管切開されている方は直接、気管に入れたチューブを通して痰を吸引します。



## 3 ご家族にお願いしたいこと

- 分泌物の吸引 分泌物がゴロゴロしていたら、吸引器を使って吸引します。吸引方法はリーフレットを参照

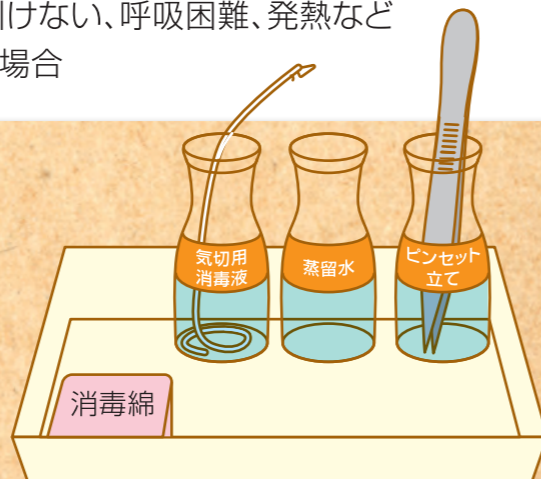
- 連絡してほしいとき なかなか分泌物が引けない、呼吸困難、発熱などいつもと状態が違う場合

### 準備していただくもの

- 吸引器 ●水道水を入れる容器
- 使い捨て手袋

### 気管チューブからの吸引の場合のみ

- 鍋(煮沸消毒用) ●牛乳瓶6本
- 大きなピンセット2本 ●タオル



診療所から支給 ●アルコール消毒綿 ●蒸留水 ●消毒液 ●吸引チューブ

※牛乳瓶やピンセットの代わりに、紙コップ・使い捨て手袋を使用する方法もありますので、病院の看護師や在宅医・看護師と相談しましょう。

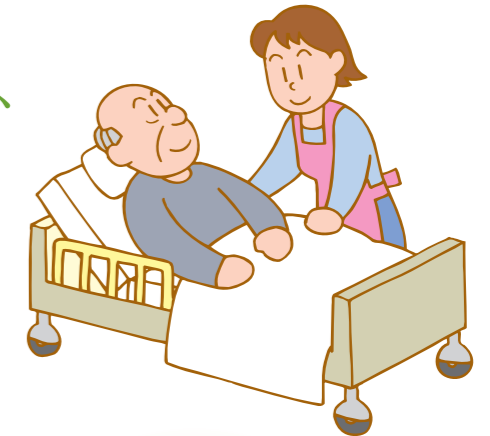
## 4 よくあるご相談

Q 吸引器はどこで購入すればいいですか？

A 医療機器を取り扱う業者から購入できます。病気によっては一部費用を負担してもらえる場合もあります。また、レンタルしている業者もあります。(身体障害者手帳をもっている方はご相談ください。)

Q 痰を吸引しても、まだゴロゴロして、呼吸も苦しそうですが…。

A 医師や看護師に連絡ください。状況をお伺いし場合により訪問させていただきます。



Q 吸引器の電源を入れても、全然吸わないのですが…。

A 吸引ボトルのふたが閉まっているか、ふたの裏側にあるゴム製パッキンが外れていないか、中間ホースの接続が外れていないかを確認してください。



### ワンポイントアドバイス

消毒は毎日行う



ピンセット、牛乳瓶は煮沸で15分

ベッドサイド配置図(例)



アルコール綿

手ぶくろ



# 胃ろう栄養注入方法

## 開始前にしておくこと

- 1 口の中をきれいにする
- 2 オムツ交換をする
- 3 ベッド頭部を30度に挙上する

- 1 ボトルに栄養剤を入れ、栄養セットの先まで栄養剤を満たす。



滴下筒を軽く押さえ  
1/3程栄養剤を満たす。



4



クレンメを  
ゆるめ、  
注入を開始する。  
(滴下の速さは指  
示されます。)

- 2 薬を注入する。※



カテーテルチップ(酢水・薬)  
栄養セットは矢印のところに  
つなぐ



5

- 5 栄養剤の注入が終わったら  
酢水を注入する。



- 3 栄養セットと胃ろうチューブを  
接続する。



※薬の注入は栄養剤注入後の場合があります。

## 日頃のお手入れ



ティッシュでつくった  
こよりを巻き、1日1回  
交換する



直接チューブが、皮膚  
に触れないよう外に  
出す



# 気管カニューレからの痰の吸引

- 1 ホースと吸引チューブをつなぎ  
吸引器の電源を入れる。



- 2 右手でピンセットをもち、  
吸引チューブをはさみ  
蒸留水で吸い上げる。



- 3 左手で吸引チューブを折り曲げ  
ながら気管カニューレに入れる。



- 4 左手を開放し、チューブをクルクル  
回転させながら、痰を吸引する。



- 5 アルコール綿でチューブの  
外側に付いた痰を拭く。



- 6 蒸留水を吸い上げ、吸引チューブ  
内の痰をきれいに吸いとり、  
消毒液の入った牛乳瓶の中に  
吸引チューブをつけておく。  
(チューブは1日1回新しいものと交換する。)





# 経鼻栄養注入方法

## 開始前にしておくこと

- 1 口の中をきれいにする
- 2 オムツ交換をする
- 3 ベッド頭部を30度に挙上する

- 1 ボトルに栄養剤を入れ、栄養セットの先まで栄養剤を満たす。



滴下筒を軽く押さえ  
1/3程栄養剤を満たす。



栄養セットと  
経鼻チューブを  
つなげる



お腹に  
聴診器をあて、  
空気を送り  
“ブクツ”という  
音を確認する。



クレンメを  
ゆるめ、  
注入を開始する。  
(滴下の速さは指  
示されます。)



薬を注入する。※

※薬の注入は栄養剤注入後の場合があります。



栄養剤の注入が  
終わったら  
酢水を注入する。



# 口からの分泌物の吸引

- 1 ホースと吸引チューブをつなぎ  
吸引器の電源を入れる。



- 2 水道水を吸い上げ、  
吸引チューブを湿らす。



- 3 左手で吸引チューブを  
折り曲げる。



- 4 口の中にチューブを5cm程挿入  
したら左手を開放し吸引する。



- 5 吸引チューブ内をきれいにする  
ため水道水を吸い上げる。



- 6



吸引チューブは  
きれいに洗った  
後、吊るして乾  
燥させる。  
(1週間に1回新し  
いチューブと交換  
する)



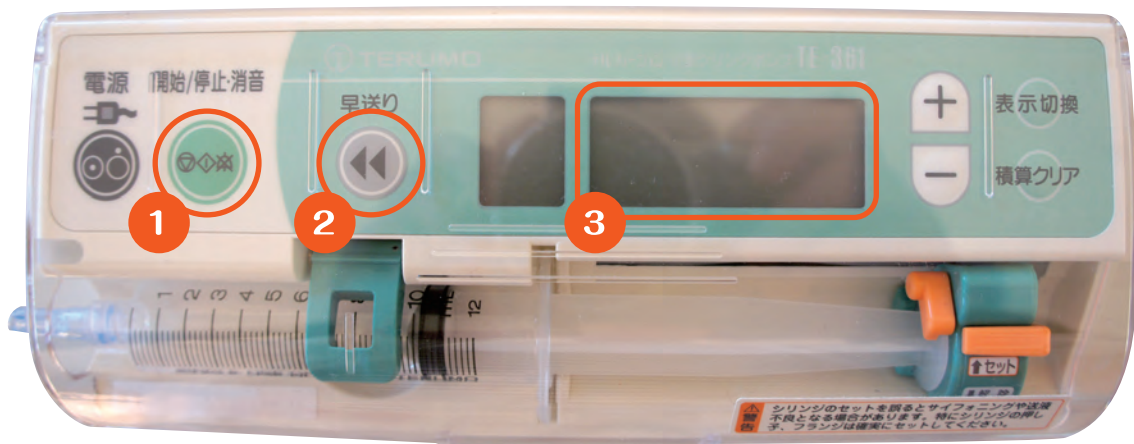
# 持続皮下注 (CSI)

## アラームを消す



- 1 1 のボタンを押す。
- 2 訪問看護、診療所に連絡、アラームが鳴ったことを伝えて下さい。  
(レスキュー、早送り)

## 早送りをする



- 1 1 停止ボタンを押す。
- 2 2 早送りボタンを 3 の画面を見ながら押し続け、  
決められた量になったら離す。  
途中で離すとリセットされるので注意!!
- 3 1 の開始ボタンを押す。



# 点滴のはずし方

1 絆創膏と消毒綿を準備する。



2



クレンメのダイヤルを矢印の方向に動かし点滴を止める。

3 固定してあるテープを少しずつはがしていく。

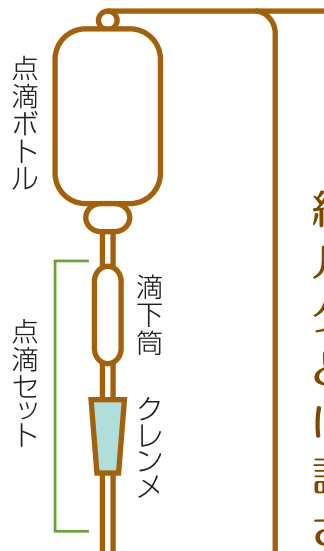


4 針の入っている部分を軽く消毒綿で押えながら、右手で矢印の方向に引き針を抜く。



5

しばらく消毒綿で、針の入っていた部分を押さえ、血が止まっていれば絆創膏を貼る。



終了した点滴ボトルや針(プラスチック)は医療廃棄物となりますので袋に入れて医師や看護師に渡してください。